

歴史文化の継承を目指して
伝統文化フォーラム 開催!



▲高塚区の子どもみこし(上)、小浜小4年生が小浜26区の歌を披露(中)、市民調査員が小浜市の伝統行事と食について報告(下)

▲民俗学者の神崎宣武さんと女優の浜美枝さんが「日本の伝統行事と食文化～小浜から見えるもの～」と題して対談(文化会館・3月3日)

まちの話だい
フオト ニュース

4 | 2013 April

3/10 景観活動団体が交流



市内の景観活動団体15団体が参加して、「景観交流会」を開催しました。同交流会は、情報交換を通じて団体同士の連帯を深め、景観づくり活動を広げるために開いたもので、今回が初開催。この日は各団体がグループに分かれて、日ごろの取組みや今後の景観づくりなどについて活発に意見を交わしました。

3/11 市民の力でまちなか観光魅力 up



観光まちづくり推進会議は、小浜地区中・西部地域の町並み、歴史文化などを生かしたまち歩き観光基盤の整備計画を策定するために設置され、専門家や地域住民、市議ら31人で構成されています。この日の会議では、つばき回廊商業棟跡地の活用策などについて協議。計画案は5月頃まとめられる予定です。

第1回街飲み祭り



▲男女160人が小浜の幸と出会いを満喫(はまかぜ通り商店街内の居酒屋・3月10日)



▲お水送りの松明行列に遠敷小学校の6年生43人が参加。長さ3mの中松明を担いだ(神宮寺～鶴の瀬・3月2日)

作って遊ぼう ひな祭り



▲20組の親子が紙とのりを使って仲良くひな人形作り(子育て支援センター・2月27日)

ブリリアントコンサート



▲聴衆約320人が地元音楽家の歌声やプロ演奏家が奏でる音色に酔いしれた(文化会館・3月10日)

3/1 よりよい社会のために



障がい者の就労継続支援事業所「縁」(東市場)の開所式が行われました。この事業所は、企業に就労することが困難な人の生産活動の機会の提供を目的とした「A型事業所」で、嶺南の4企業、3個人が出資して株式会社として設立。今後は、箸の加工や包装作業などの業務を行う予定です。

3/5 おうさだはる 王貞治氏が小浜市を訪問



15カ国・地域の子どもたちが参加する「世界少年野球大会」が8月に嶺南地域で開かれるのを前に、おうさだはる 王貞治氏((財)世界少年野球推進財団理事長、福岡ソフトバンクホークス取締役会長)が小浜市を訪問。市長が記念に若狭塗箸などを手渡すと、「嶺南での野球大会を通じ、子どもたちにいい思い出作りをしてほしい」と語りました。